

応募は昨年の1・6倍

海洋教育写真
コンテスト

小中合わせ927点

平成29年度海洋教育・夏休み写真コンテストの応募作品の受け付けが締め切られた。「海の生きもの」と「海の風景とくらし」両部門で作品の応募を呼びかけたところ、小学生337点、中学生590点、合計927点に達した。審査を経て

両部門とも最優秀賞、優秀賞などに賞状や記念品が贈

られる。主催はみうら学・海洋研究所、東大三崎臨海実験所、三浦市、三浦市教育委員会。コンテストは今年が6回目で、応募者全員に参加賞を贈る。

ジャンルは「海の生きもの」が三浦の海の生きもの。「海の風景とくらし」は海の生きもの以外に関するもの。応募資格は市内の小中

学生。作品は一人1部門1点。入選作品の著作権は同研究所に帰属。また、入賞作品は関連団体のホームページなどで紹介するほか、海洋教育促進の広報活動に利用される。

海洋研究所によると、昨年は両部門に575点の応募があり、今年は約1・6倍の作品が寄せられた。



28年度コンテストで特別賞を受賞した「ホソウミニナの渓谷」

ホテイのカラーリングも
見込み。